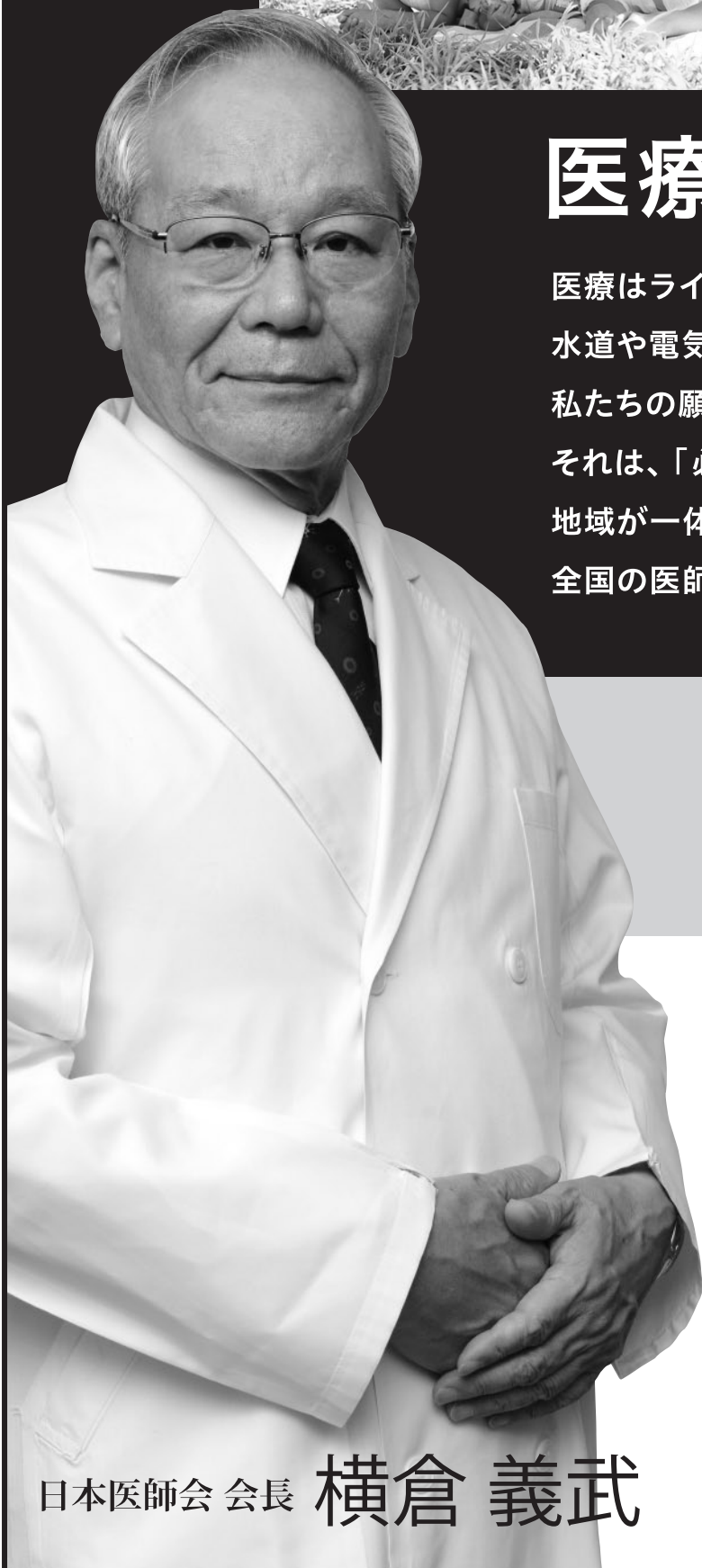




# いまこそ、 地域の力をひとつに。

かかりつけ医は患者さんを元気に。日本医師会は地域の医療を元気にします。



## 医療はまちづくり

医療はライフライン。  
水道や電気と同じように医師のいないまちには人は住むことができません。  
私たちの願いは住みなれたまちでだれもが安心して暮らせること。  
それは、「必要な医療が過不足なく受けられる社会づくり」に尽きます。  
地域が一体となった在宅医療連携を推進するために  
全国の医師が一丸となって立ち向かいます。

## 新しい日本医師会が始動します。

### 2025年、ピークをむかえる超高齢社会と向き合い 地域で支える医療・介護の充実を。

日本の社会を支えてこられた団塊の世代の方々が75歳以上になる2025年。  
私たちは世界に冠たる制度として海外からも評価の高い国民皆保険を持続可能な制度として堅持できるよう、  
これまでも、そしてこれから先も政府に働きかけていきます。  
これまで積み上げられてきた「医療・介護」の根幹を守り、次の世代が安心して健康に生活できる社会こそ国の宝です。  
あなたと共に地域での「医療・介護」を守りたい。その思いを前面に活動を深化させていきます。

日本医師会 会長 **横倉 義武**

**日本医師会**  
www.med.or.jp

※2025年問題  
平成27(2015)年には「ベビーブーム世代」が前期高齢者(65~74歳)に到達し、その10年後(平成37(2025)年)には高齢者人口は(約3,500万人)に達すると推計されます。  
これまでの高齢化の問題は、高齢化の進展の「速さ」の問題でしたが、平成27(2015)年以降は、高齢化率の「高さ」(=高齢者数の多さ)が問題となります。  
厚生労働省「高齢者人口の推移」